

SEMINAR HOUSE NEWS

セミナーハウス・ニュース No.184

2013年5月発行

主な内容

巻頭言	1
法人ニュース	2
お知らせ	3
・前理事長中嶋先生を偲んで	
千人会通信	4
ご利用状況	5
セミナー事業について	7
フロントより	8
館長室から	

公益財団法人 大学セミナーハウス 〒192-0372 東京都八王子市下柚木1987-1 TEL.042-676-8511 FAX.042-676-1220

<http://www.seminarhouse.or.jp>

大学セミナーハウスは2015年に開館50周年を迎えます



巻頭言

多様性というキーワード

大学セミナーハウス 評議員
福井 憲彦

昨年も今年も、東京の春は梅の開花が遅く、3月にずれ込んだと思ったら、桜や桃が重なるように開花して、4月にもなると、やや早めの新緑の芽吹きとあわせて美しい。大学セミナーハウスの草木は、いまや周辺の宅地開発も進んだので、貴重な多摩丘陵の面影を宿した自然資産である。日本人は、四季の移ろいははっきりしている温帯に位置していることもあって、自然の風情と時節の移ろいに敏感な文化を形づくってきた。しかし今では、どうであろうか。アウトドアブームはあるようであるが、現代都市型となった日々の生活は場所性を喪失した、どこでも置き換え可能な、ほとんどカプセル空間内であるかのような感じはないであろうか。

こんなことを書くのは、動植物のなかで絶滅種が増えはじめており、このまま進めば生物多様性が危うい、という環境生物学者からのメッセージが気になるからである。これはもちろん日本だけのことではなくて、地球規模での話である。私はこの面での専門家ではないので、正確な状況をここで述べることはできない。しかしデータとファクトに基づいた認識の共有は、もっと必要ではないか。ローマ・クラブが『成長の限界』を公表してからすでに40年たつ。残念ながら、当時と現在とでは、警告の意味は変わらず重い。つまりは、人間が快適さを求めるという、ある意味ではもっともな欲望が、限界設定なしに追求されれば、最終的には、豊かな多様性をもって存続してきた地球上の生命の存続自体が、人間を含めて困難に陥りかねない、ということである。

東日本大震災と巨大津波は、我々に改めて自然と人間との関わりのあり方、これからの社会をどのような価値理念に基づいて構築するのか、深刻な問い直しを要請したはずである。たしかに、そう簡単に答えの出る問いではない。しかし大学という、真剣な知の営みを止めてはいけない機関に所属して、教育と研究にあたってきた我々一人一人がそれぞれの場で、まずは多様な意見を交わしあう姿勢が不可欠であろう。

情報技術の急速な進歩とともに、グローバル化はますます進行していくであろう。それに対応できる次世代育成は言うまでもなく重要な課題である。現在のところ世界共通



▲本館から望む桜

語となっている英語能力を高めることも、こうした時代においては大切であろう。しかし同時に、グローバルな関係性のなかで、宗教や生活文化に限らず多様な面で世界各地には極めて多様な存在様式があり考え方があり、という多様性を踏まえた次の時代を構想する必要性を見逃してはならない。そうでないと、人間の生き方の面でも多様性の余地が狭まって、ひどく息苦しい世の中になりかねない。世界各地のいわゆる少数言語は、しばらく前から次々と消滅への歩みを速めていると聞く。情報機器や言語などのコミュニケーション・テクノロジーを教えるだけに汲々としていてはならない。同時にそれらの伝達手段をどのように生かすのか、それらを使って何を考えるのか、という根本がないがしろにされたなら、何のための大学か、と言われかねないだろう。

●福井 憲彦 (ふくい のりひこ) プロフィール

1946年 東京に生まれる
1970年 東京大学文学部西洋史学科卒業
1973年 同 大学院修士課程 (西洋史学) 修了
1974年より76年までフランス政府給費留学生としてパリ第一大学に留学
1977年 東京大学大学院人文科学研究科 (西洋史学) 博士課程中退
東京大学文学部助手、東京経済大学助教授を経て、
1988年 学習院大学文学部史学科助教授
1991年 同 教授
2004年 学習院大学文学部長
2007年 学習院大学学長 (現在に至る)
他に、社団法人日本私立大学連盟監事・理事、公益財団法人大学基準協会評議員、公益財団法人日仏会館理事、公益財団法人史学会評議員、文部科学省中央教育審議会専門委員、日本ユネスコ国内委員会委員などを歴任

第7回理事会

- ◎50周年記念事業募金委員会設置される
- ◎来年度事業計画骨子示される
- ◎一橋大学再加入

第7回（平成24年度第2回）理事会が、平成24年11月1日（休）午後5時～7時、アルカディア市ヶ谷で、出席理事6名、欠席理事3名、出席監事1名、欠席監事1名の下、開催され、全議案、滞りなく承認された。

議案1は、「開館50周年記念事業募金委員会要項（案）」についてで、2015年7月の開館50周年に向けて、記念事業を行うこととし、そのための財源確保のため、募金活動を行うことを決定、募金委員会を、現在の理事長、評議員会議長、館長を中心に、理事及び評議員を核とする構成でスタートすることを決定した。

議案2は、「短・中・長期計画の骨子（案）」についてで、50周年記念事業及び次年度事業計画を詰めていく上で、今後は、表記「短・中・長期計画」を策定しながら進めることとし、今回初めて、10カ年にわたる骨子案を作成した。今後内容を詰めていくことで了承された。

議案3は、「平成25年度事業計画骨子（案）」についてで、平成25年度事業計画は来年3月の理事会で決定する事項であるが、原案作成の段階で理事の意見を聴取するようにしたので、今回骨子案を提示した。来年度の事業の第1の柱は50周年記念事業の内容及び規模を決め計画を軌道に乗せること、宿泊サービスの向上を図ること、プロジェクトアドベンチャーを活用した体験型研修システムを導入すること、年間宿泊者数33,000人を目指すことなどの提案をした。

議案4は、「評議員会の召集」についてで、平成25年3月29日（金）に、定款の一部変更等の議案で開催することを確認した。

議案5は、「一橋大学の協会員入会」についてで、国立大学法人一橋大学が再加入することとなり、満場一致で了承された。大変嬉しいニュースであった。

なお、相談事項として、「定款の一部変更」について、評議員及び理事の定数の若干の増員と役員報酬の設定についてご意見を賜り、大筋了解を得られたので、来年3月の評議員会に諮ることとなった。

第8回理事会

- ◎平成25年度事業計画・収支予算決定
- ◎50周年記念事業に向けて第1歩を踏み出す
- ◎定款の一部変更を評議員会に提案

平成25年3月29日（金）アルカディア市ヶ谷で、佐藤理事長以下5名の理事の出席の下、第8回理事会を開催し、議案はすべて滞りなく承認された。

議案1は、「平成25年度事業計画案」で、①レストランの建設と既存施設のリニューアルを核とする50周年記念事業の準備と募金活動、②年間33,000人の宿泊利用者を目指す宿泊研修支援の向上、③プロジェクトアドベンチャーの導入を含む主催セミナーの充実、および短・中・長期計画の策定

を目指すものである。

議案2は、「平成25年度収支予算案」で、上記事業計画を反映したものであるが、厳しい財政を反映し、昨年並みの予算規模となった。

そのほか、本法人の運営の強化を図るために、定款の一部変更（評議員及び理事の定数の若干の増員と、役員報酬の改定）について、評議員会に提案することを確認した。

また、事務組織の強化を図るために、「事務組織規程の制定」「常勤嘱託給与内規の制定」を行った。

第3回評議員会

- ◎定款一部変更、理事及び評議員の定数を増員
- ◎役員等の報酬規定を改定
- ◎評議員1名の補充を決定

平成25年3月29日（金）アルカディア市ヶ谷で、佐野評議員会議長以下3分の2以上の10名の評議員の出席を得て、第3回評議員会を開催し、議案はすべて滞りなく承認された。

議案1は、評議員会及び理事会の強化を図り、加盟大学の意向をできるだけ反映させるために、「定款の一部変更」で、評議員の定数を「9名から15名以内」を「15名から21名以内」に変更、理事の定数を、「7名から9名以内」を「9名から13名以内」に変更することとなった。また、評議員及び役員報酬は、社会通念から、無給から有給とするこの変更を行った。

議案2は、定款の変更に伴って、「評議員及び役員等の報酬規程の変更」を行った。

そのほか、木村利人評議員の任期途中における辞任に伴い、川島堅二恵泉女学園大学学長を評議員とすることを決定した。

平成25年度 収支予算書

平成25年4月1日～平成26年3月31日 (単位：千円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	5	7	△2
特定財産運用益	5	7	△2
事業収益	182,410	182,500	△90
受取補助金等収益	0	0	0
受取会費・寄附金収益	50,450	49,590	860
雑収益	5	5	0
経常収益計	232,875	232,109	766
(2) 経常費用			
事業費	207,621	208,758	△1,137
管理費	10,996	11,782	△786
経常費用計	218,617	220,540	△1,923
評価損益等調整前当期経常増減額	14,258	11,569	2,689
当期経常増減額	14,258	11,569	2,689
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	1,000	1,000	0
当期経常外増減額	△1,000	△1,000	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	13,258	10,569	2,689
一般正味財産期首残高	853,091	842,522	10,569
一般正味財産期末残高	866,349	853,091	13,258
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	5,000	0	5,000
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	5,000	0	5,000
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	5,000	0	5,000
III 正味財産期末残高	871,349	853,091	18,258



大学セミナーハウス 前理事長 中嶋嶺雄氏(国際教養大学理事長・学長 2013年2月14日永眠)を偲んで

中嶋先生は、2000年6月から2006年5月まで、大学セミナーハウスの理事長として（2002年3月から2004年3月までは館長兼務）、留学生会館の建設をはじめとする、開館40周年記念事業を精力的に推進していただきました。——ここに、『開館40周年記念誌～理事長挨拶（抜粋）～』を掲載させていただきます。——

大学セミナーハウスは、人的接触の希薄化を招いた大学教育の補完と、国・公・私立の大学の壁を超えた交流を目的として、1965年に開館されました。以来、大学セミナーハウスは常にその目的を見据えつつ、大学教員と学生および社会人に、教育研修の宿泊施設を提供しながら、学生対象の教育プログラムや大学教員・職員対象の研修プログラムなどの実施に力を注ぎ、日本の高等教育にも少なからぬ貢献をして参りました。(中略)

大学セミナーハウスは、大学をめぐる状況や学生のライフ・スタイルの変化、社会環境の変動やIT革命の進展などに合わせ、新しい方向へ大きく進むべき時期にさしかかっています。諸施設や事業内容をどのように再整備していくかは急務ですが、今後も創立の理念を活かしつつ、新しい時代の大学セミナーハウス像を求めて努力してゆかねばならないと考えております。

わたくしどもも運営に関わる全ての者は、故中嶋先生の大学セミナーハウスに対する思いや決意を継承し、来たる50周年事業に鋭意取り組んでいくことが使命と考えております。

改めて、ここに故中嶋先生の数々のご尽力に感謝申し上げますとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。

【ご略歴】

1936年5月11日生（長野県松本市生まれ）

【学 歴】

1960年3月 東京外国語大学第六部第一類（中国科）卒業

1965年3月 東京大学大学院社会学研究科 修士課程 修了

1966年3月 東京大学大学院社会学研究科 博士課程 退学

【学 位】

1960年 文学士（東京外国語大学）

1965年 国際学修士（東京大学）

1980年 社会学博士（東京大学）

【職 歴】

1966年 4月 東京外国語大学外国語学部 助手（歴史学）

1969年10月 東京外国語大学外国語学部 助教授（国際関係論）

1969年10月 外務省 特別研究員（在香港）

1977年 4月 東京外国語大学外国語学部 教授（国際関係論）

1977年 9月 オーストラリア国立大学現代中国センター 客員教授

1980年11月 パリ政治学院 客員教授

1992年11月 カリフォルニア大学サンディエゴ校大学院 客員教授

1995年 9月 東京外国語大学 学長

1998年 6月 国立大学協会 副会長

2002年 4月 北九州市立大学大学院社会システム研究科 教授

2004年 4月～ 国際教養大学 理事長・学長（国際社会学）

（2008年4月、2012年4月再任）

【専門分野】 国際関係論、現代中国学、アジア地域研究

【著 書】『現代中国論』（青木書店、1964）

『中ソ対立と現代』（中央公論社、1978）

『北京烈烈』（筑摩書房、1981）〈サントリー学芸賞受賞〉

『国際関係論』（中公新書、1992）

『21世紀の大学』（論創社、2004）

『「全球（グローバル）教育論」』（西村書店、2010）

『なぜ、国際教養大学で人材は育つのか』（祥伝社、2010）

『世界に通用する子供の育て方』（フォレスト出版、2011）

『日本人の教養』（朝日新聞出版、2011）

『学歴革命』（KKベストセラーズ、2012）他多数

【兼 職】UMAP（アジア太平洋大学交流機構）国際事務総長（1998～2006）

文部省大学審議会特別委員（1994～2001）

文部科学省中央教育審議会委員

（大学院部会長・外国語専門部会主査、2001～2007）

財団法人大学セミナー・ハウス理事長（2000～2006）

内閣教育再生会議有識者委員（2006～2008）

公益社団法人才能教育研究会会長（2008～）

松本深志同窓会会長（2008～） ほか

【所属学会】全米アジア学会会員・終身会員（1978～現在）

日本国際政治学会会員・名誉理事（1965～現在）

大学教育学会会員（2004～現在）

【受 賞 等】サントリー学芸賞（1981）

中華文化賞（2001）

中華民国大綬景星勳章（2000）

「正論大賞」（2003）



五十音順（2012年4月～2013年3月）

荻上 紘一様	100万円
酢屋 善元様	5千円
東亜サービス株式会社様	20万円
外立 鉄夫様	1万円
程島 俊介様	10万円

開館50周年記念事業へのご協力に心より御礼申し上げます。



▲留学生会館とグラウンド

会費をありがとうございました

2012年10月～2013年3月

(敬称略)

- 10月** 東 壽太郎、松田千鶴子、末松安晴、桐原五十鈴、外間 寛、林 勲、小林善彦、木畑洋一、遠藤卓郎、小田中敏男、小和田 恆、酢屋義元、上野芳康、牧内 操、長内 了、得田保雄、宇野重昭、福島正久
- 11月** 米満 澄、藤寄啓助、戸張よし子、熊川 忠、村上 健、川鍋正敏、山岸 健、高橋美佐子、木下是雄、小林澈郎、福井憲彦
- 12月** 城 謙輔、田村皖司、近藤 保、青木生子、有山正孝、池田 温、吉田 豊、中野斉子、岡崎 正、小西正捷、三浦安子、横沼健雄、小池生夫、澤 孝一郎、吉原健吾、後藤敏明、青柳総太郎、大須賀節雄、森 久、堀井啓幸
- 1月** 大澤恵美子、小谷正博、厚東偉介、川崎正三、大森東亜、慶谷壽信、川端香男里、白井克彦、佐藤音彦、鈴木 皇、新井 明、柳父罔近、出光直樹、石川道夫、生山智己、海老沢信一、柳澤富雄、本田和子、池井 優、北原文雄
- 2月** 風間邦光、蓮見音彦、佐藤 光、上田明子、肥前榮一、小林一彦、泉 敏彦
- 3月** 磯 直道、高松正昭、勝見允行、絹川正吉、島田治夫、柴田泰比古、竹村五夫、新保清子、佐藤公孝、有賀 弘

会員からのメッセージ

セミナーハウスでは千人会会員の皆様に敬意と感謝の気持ちを込めてささやかではございますが、お誕生日をお祝いし、カードをお贈りしております。会員の皆様より、折にふれ、お寄せいただいたメッセージをご紹介しますとともに心よりお礼申し上げます。

◆大学セミナーハウスの益々の発展を祈ります。 得田保雄

◆継続発展を祈っています。 宇野重昭

◆現在イチローのいない米国シアトルに住んでおります。この夏当地にて小生も1989年に参加した日米学生会議が開催されました。確か、この会議は資金の潤沢でなかった1970年代は八王子セミナーハウスで合宿をはって開催されたはずで、小生が基地(確か昔ウルトラマンか仮面ライダーの屋敷のロケで使われたはずなので貴地でなく、基地)でアルバイトしていた頃に、いくつか記念植樹を見つけた記憶があります。セミナーハウスの敷地の改変でいくつかは斬られてしまったかと思いますが、形をかえてでも、生き残ってさらなる発展を遂げることを期待しております。

日本国シアトル総領事館 領事 吉原健吾
◆誕生日祝いのお言葉をいただき、有難うございます。大学セミナーハウスが地域の人々や社会人にも開かれた研修施設として用いられていることを、嬉しく思います。

熊川 忠

◆辛い日々、忙しく活動しております。セミナーハウスの大地と風景、音風景、雰囲気をおりに思い浮かべております。

山岸 健

◆誕生日を記念しての千人会の知らせ、有難うございました。日本の知性の育成のためのご協力、有益な活動とします。僅かですが、ご送金申し上げます。

高橋美佐子

◆大学の多様化に伴い、セミナーハウスの活動も益々多岐に亘り、困難も多くなっていることと存じます。ユニークな場たるハウスの健全な歩みを期して已みません。貧者の一灯をお送り申し上げます。 小林澈郎

◆誕生日のカードありがとうございました。思えば千人会発足頭初の輝かしい理念はその後の社会の急速な変化につれて、移り変わってしまいました。 田村皖司

◆何とか生き長らえながら、拙著『青木生子著作集』全15巻の最終のまとめを進めております。ハウスの歴史に自分史を重ねて、感無量でございます。益々の充実、発展をお祈り申し上げます。 青木生子

◆80代となり、一切の公務より退休、家族と静かに余生を送っています。 池田 温

◆千人会員として40年余、うちこの20年近くも御無沙汰です。いつかうかがいたいのですが、遠方ゆえ……。 小西正捷

◆いつもニュースをありがとう存じます。今年には久々にお訪ねし、「セミナーハウス健在」を実感いたしました。お世話になりました。

三浦安子

◆千人会会費、御送り致します。大学セミナーハウスが大学教育・社会教育にますます大きな役割をはたされるよう、いのっております。

横沼健雄

◆誕生日は7月23日でした。その後まぎれこんで今日になりました。80歳になりました。セミナーハウスの思い出は一杯つまっています。セミナーハウス職員の皆様の御活躍を祈ります。 小池生夫

◆バスデーカードありがとうございました。本年6月主婦の友社を定年退職いたしました。

青柳総太郎

◆来たる3月にまた新ゼミ員を連れてお世話になります。1年に一度大学セミナーハウスの知的雰囲気と自然環境の中で過ごす1泊2日は学生ばかりか私にとっても初心に戻る良い機会となっています。

森 久

◆カードをありがとうございました。2年連続でイギリスに調査に行ってきました。連立政権になって、教育予算が削られている様子。日本では少なくともGDP比5%予算を組んでもらいたいと思います。

堀井啓幸

◆お誕生日のカード有ありがとうございました！ 定年まであと1年になりましたが、何とか元気に過ごしております！ 大学セ

ナーハウスの発展を祈ります！

厚東偉介

◆開館50周年、お目出とう御座います。飯田専務理事の時代もはるか昔ですね。小生もまだまです。ますますのご発展をおいのりしています。

川崎正三

◆かつてセミナーの食堂で、学生たちみんなで食べたカレーライスが懐かしくなりました。今ではどんなメニューが人気なのでしょう。八王子ラーメンなんて食べれたら楽しいですね。

海老沢信一

◆93歳となりました。細く長く(少額ながら)続けたいと思っております。益々の発展・充実を期待しております。

北原文雄

◆今号のニュースは上代たの先生の特集で、久しぶりに胸を熱くしました。縁あって私が千人会に入れていただいたのが1968年ころとすれば上代池ができたころであり、いつのまにかそれから45年も経ってしまっているの、当時のハウスへの思い入れも薄れかけているところでした。遠方のこともあってこの10年近く伺っていませんが、ハウスでは建物一つとっても大きな変化があり、重厚なる遠来荘もなく、おそらくは立教の教え子たちによってその傍らに植えられていた蠟梅もなくなっているのでしょうか。さびしいことですが、新たな衣をまといつつ発展していることはうれしいことです。機会あればいつかまたあの多摩の丘に登りたいと思っています。更なる発展をと祈りつつ。 小西正捷(立教大学名誉教授)

◆この春で職場は定年ですが、学問は定年はありません。

佐藤 光

◆ニュースをいつも有難うございます。

上田明子

◆大学セミナーハウスのご健在と一層の発展を祈ります。

肥前榮一

◆もう50周年を迎えようとしているのですね。大学院時代に早稲田大学染谷恭次郎先生のゼミナールでお世話になったことどもを思い出しています。なつかしいの一言につきます。

高松正昭

◆尊いお働きに感謝申し上げます。生きている限り支援します。

島田治夫

◆貴法人のご発展を祈ります。 佐藤公孝

平成24年度 宿泊業務報告

◆年間の宿泊利用者数 30,196人

平成24年度の宿泊利用者数は30,196人で、前年度が29,920人でしたので276人の増加でした。

24年度上期は会員校が前年比▲4.3%、一般校+6.3%、社会人+45.2%、上期全体で+4.4%でした。

一方、下期は会員校が前年比▲9.1%、一般校▲20.5%、社会人は+55.4%、下期全体で前年比▲4.3%でした。

年間では会員校、一般校は前年に及ばず、社会人利用で前年実績をクリアーした結果となりました。

25年度は景気の回復が予想され社会人利用は増加するものと推測しますが、会員校、一般校の利用拡大が課題になるものと思われます。

◆区分別利用状況

宿泊延人数全体の占める区分別の構成比は表1、図1に示す通りです。

表1 宿泊延人数

区分	平成24年度		平成23年度	
	宿泊延人数	構成比	宿泊延人数	構成比
会員校	16,566	54.9%	16,716	55.9%
一般校	7,495	24.8%	7,818	26.1%
社会人	5,329	17.6%	4,936	16.5%
主催セミナー	806	2.7%	450	1.5%
合計	30,196	100.0%	29,920	100.0%

利用区分比率は会員校で前年比▲1.0%、一般校▲1.3%、社会人+1.1%、主催セミナーは+1.2%になりました。教育関係の占める割合は82.4%となりました。

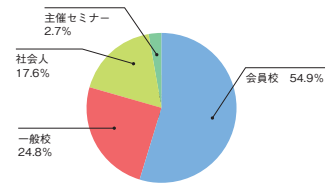


図1 利用区分構成比

◆宿泊の年間稼働率は30.0%

本年度のセミナーハウスの営業日数は、360日で、宿泊室(宿泊定員280人)の年間平均稼働率は30.0%でした。

尚、ご参考までに本年度最多利用会員校を紹介します。(表2)

表2 協会員校最多利用10校

順位	大学名	宿泊延人数(人)	順位	大学名	グループ数
1	創価大学	1,398	1	首都大学東京	31
2	首都大学東京	964	1	日本大学	31
3	青山学院大学	857	3	青山学院大学	25
4	法政大学	790	3	早稲田大学	25
5	日本大学	789	5	法政大学	24
6	明治大学	658	5	中央大学	24
7	早稲田大学	620	7	明治大学	19
8	中央大学	595	8	創価大学	17
9	東京都市大学	563	9	東京学芸大学	16
10	東洋大学	473	10	帝京大学	14

ご利用ありがとうございました

(2012年10月~2013年3月)

団体名掲載 敬称略
太字…会員校団体(宿泊利用)

* =同月2回以上利用

延べ人数…①個人利用者を含む

②留学生、海外研究員の短期滞在を含む

③日帰り利用者は除く

■10月(61グループ 延べ1,795人)

東京学芸大学混声合唱団
一般財団法人国際教育振興会
電気通信大学大須賀・田原研究室①
電気通信大学大須賀・田原研究室②
東京大学平手研究室
法政大学 菊澤ゼミ
首都大学東京人文社会系社会人類学分野
上智大学STP
お茶の水女子大学 小林ゼミ
プロジェクト・スケイプ
デジタルアートセミナー#1
PS
セミナーハウス周辺と建築をめぐる散歩
早稲田大学マジッククラブ
上智大学STP室蘭
上智大学STP足利
帝京大学
神楽坂懇話懇親会
東京工業大学国際開発サークル
法政大学文学部地理学科
創価大学キャリアセンター
早稲田大学渡辺仁史研究室
電気通信大学 上野芳康
関西創価中学校
法政大学 小椋ゼミ
明星大学理工学部 渡邊研究室ゼミ
首都大学東京交通計画研究室
青山学院大学グリーンハーモニー合唱団
首都大学東京角田研究室
中央大学 甲斐ゼミ
明星大学 堀江ゼミ
㈱スリーボンド
三育学院カレッジ神学科
聖心女子大学 永井ゼミ
前橋工科大学松井研究室
少年サッカー東京12ブロック

㈱こうゆう*
カルバリー・バプテスト教会
奥沢オラトリオ合唱団
東京サンガ
調布南キリスト教会
混声合唱団Tokyo Sornium
日本基督教団緑星教会タビタ会
大東建託㈱
ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ㈱
㈱宮入ノバルド製作所
㈱コニカミノルタ
首都圏精神科作業療法連絡協議会
ホワイトホースシアター*
社団法人日本冷凍空調学会
心と体の研究会
日本スペシャルティコーヒー協会
府中聖書集会
日帰り利用
ツリーマスタークライングアカデミー
幼体連スポーツクラブ*
㈱スリーボンド
植物博士とゆく草花散歩と座学カフェ

■11月(59グループ 延べ1,716人)

中央大学 小林ゼミ
明治大学通信伝送グループ
東京外国語大学 中川ゼミ
日本女子大学附属高等学校
慶応大学最新会
東京学芸大学 腰越ゼミ
東京女子大学 今村ゼミ
東京外国語大学タイ語専攻
慶應義塾大学 長谷部ゼミ
立教大学コミュニティ福祉学部
日本生物工学会
第9回古代史セミナー
青山学院大学 ロビンソンゼミ
財団法人祈月書院
中央大学 川崎ゼミ
日本大学カリカリ君
東京工科大学キャリアサポートセンター
バイオマテリアル若手研究会
アイセック・ジャパン
明星大学 小貫ゼミ
アイセック立教大学委員会
東京外国語大学 丹羽ゼミ
首都大学東京戦略研究センター
国際基督教大学KKG
中央大学ボクシング部

桜美林大学 谷内ゼミ
第39回国際学生セミナー
日本大学 小巻ゼミ
早稲田大学文学教育学コース
帝京大学
早稲田大学 佐藤ゼミ
目白大学青木研究室
白百合女子大学 鈴木ゼミ
三重県立神戸高等学校吹奏楽部
玉川大学 山口ゼミ
東都学生軟式野球連盟
名古屋商科大学
NPO法人共存の森ネットワーク
武蔵野市役所
再評価カウンセリング
さかみはらフィルハーモニー管弦楽団
アシードジャパン
国際環境保護団体グリーンピース・ジャパン
㈱コニカミノルタ*
㈱ロッセア
日本サムスン㈱
日本分光㈱
㈱生活科学運営
日本大学生産工学部辻研究室
(南和)
(南)イシン・ハチオウジオペレーションズ
the vocal play
八王子市民活動協議会
日帰り利用
幼体連スポーツクラブ
パソカラ
明星大学 吉澤ゼミ
㈱エンブレム
ツリーマスタークライングアカデミー



▲緑の中でバーベキュー

ご利用状況

■12月(49グループ 延べ1,830人)

アイセック上智大学委員会
創価大学キャリアセンター
日本女子大学英文学科
アイセック青山学院大学委員会
中央大学ボクシング部
第27回大学職員セミナー
青山学院大学 納家ゼミ
日本大学 湯浅ゼミ
首都大学東京SE
社会学セミナー
東京学芸大学 憲法ゼミ
フィールド・アシスタント・ネットワーク
一橋大学 佐藤ゼミ
首都大学東京B類テニス部
帝京大学医学部 事務部
第20回大学人コミュニケーション力養成セミナー
中央大学商学部 河合ゼミ
日本大学 ちやぼ
青山学院女子短期大学 輪島ゼミ
日本大学 別府ゼミ
五大学合同セミナー
アイセック一橋大学委員会
中央大学国際文化会
日本大学 古田ゼミ
創価大学 西浦ゼミ
第6回教員免許状更新講習
工学院大学建築学部建築学科
横浜ゼミナール
八王子高等学校野球部
日本赤十字社神奈川県支部
八王子高等学校
個別指導塾ドリームスタディ
国際物理オリンピック代表候補者合宿
AITC
文学教育研究者集団
ものつくり大学建設学科三原研究室
JAVS事務会計局
㈱イシン・ハチオウジオペレーションズ
㈱ぱむ
ハイドンレギウム
日帰り利用
㈱ケイファクトリー
撮影 *
鶴見川流域ネットワーク
ライオンバイタルエレメント㈱
八王子ワイズメンズクラブ
カトリック求道教会
幼体連スポーツクラブ
ツリーマスタークライミングアカデミー

■1月(32グループ 延べ1,033人)

桜美林大学 鈴木ゼミ
東京学芸大学鴨川研究室
上智大学 下川ゼミ
首都大学東京地盤工学グループ
早稲田大学佐野研究室
日本大学フィールド・アシスタント・ネットワーク
東洋大学社会学サークルびゅう
首都大学東京都市教養学部
アイセックジャパン
駒澤大学 中野ゼミ
女子美術大学
創価大学 安田ゼミ
大妻女子大学住文化研究室
首都大学東京機械工学コース
成蹊大学放送研究会
幼体連スポーツクラブ
東京都立三田高等学校
東海大学 福味ゼミ
㈱こうゆう
㈱タウンキッチン
ユーザー研究会
多摩スイングジャズオーケストラ
㈱サードアイズ
ツリーマスタークライミングアカデミー
㈱デボル
アンデムジーク室内合奏団
心と体の研究会
PFP
HFA
㈱アイ・ティ・アール

日帰り利用

帝京大学外国語学部郷ゼミ
ツリーマスタークライミングアカデミー

■2月(63グループ 延べ1,958人)

首都大学東京機械工学コース
東洋大学
桜美林大学生協 留学生委員会
日本大学 伊藤ゼミ
早稲田大学 周藤ゼミ
ICUグリークラブ
第4回ひらいらずみセミナー
学生団体U&M
エデュベディア
日本学生観光連盟
成蹊大学放送研究会
日本大学 矢田ゼミ
立教大学 有本ゼミ
明治大学 竹下ゼミ
東京学芸大学学校教育選修
帝京大学こでまり
日本大学法学部 福田ゼミ
日本大学雄弁会
日本大学法学部 代田ゼミ
千葉大学松尾研究室
東京学芸大学大学院英語教育 金谷ゼミ
明治大学雄弁部
早稲田大学 吉野ゼミ
法政大学 斉藤ゼミ
中央大学辞達学会
日本大学法学部 山田ゼミ
日本大学生産工学部 松井・永井研究室
東京工科大学吹奏楽団
創価大学国際連合研究会
東洋大学 遠藤ゼミ
桜美林大学生協学生委員会
東洋大学はばたき
日本大学 川又ゼミ
東京学芸大学男子ラククロス部
電気通信大学生協学生委員会
創価大学経済学部 長谷部ゼミ
㈱スリーボンド
アイセック青山学院大学委員会
青山学院大学 白井ゼミ
明治大学混声合唱団
日本大学 福島ゼミ
アイセックSFC
駒澤大学 瀬戸岡ゼミ
アイセック明治大学委員会
法政大学 廣川ゼミ
東京学芸大学生協
和光大学 道場ゼミ
エナジーソフト㈱
㈱ペンの森
東京セキスイハイム
日本大学天文学研究会OB
アンサンブルタマニニ
対話の学校
ミサワホームイング多摩
メンネルコール広友会
社団法人日本山岳協会
㈱ベルデザイン
超機動合唱戦隊バスターガイザー
勝間塾
日帰り利用
幼体連スポーツクラブ *
GEヘルスケア・ジャパン㈱
第1回SPA運営委員会

■3月(91グループ 延べ3,156人)

東京工科大学吹奏楽団
千葉大学教育教職サークルwith us
青山学院大学 塩澤ゼミ
JSA東京院生
アイセック立教大学委員会
東京外国語大学生協組合
首都大学東京
東京農工大学宮浦研究室
東京工業大学土木・環境工学科測量学実習
中央大学 市村ゼミ
第21回大学人コミュニケーション力養成セミナー
『実体概念と関数概念』読書ゼミ

東京学芸大学国分寺子供クラブ
東洋大学 太矢ゼミ
青山学院大学聖歌隊
中央大学 Do it your voice
東京工業高等専門学校
駒澤大学 姉齒ゼミ
早稲田大学空間映像ゼミナール
明治大学 川嶋ゼミ
日独フォーラム
創価大学総合心理研究会
東京農工大学勉強会
日中学生交流団体フリーバード
青山学院大学 中澤ゼミ
日本大学 神尾ゼミ
東洋大学 川瀬ゼミ
法政大学 金原ゼミ
早稲田大学園池研究室
千葉大学 工藤ゼミ
電気通信大学寺田研究室
首都大学東京B類テニス部
筑波大学漫画研究会
中央大学 芳賀ゼミ
立教大学ジョイスタディプロジェクト
明治大学 森ゼミ
中央大学経済学部 片桐ゼミ
シグナル
帝京大学医学部事務部
東京工業高等専門学校
横浜国立大学経営学部博士課程前期
千葉商科大学付属高等学校
創価大学 西浦ゼミ
埼玉大学 福岡ゼミ
日本大学経済学部経済学科 岸田ゼミ
中央大学 浅田ゼミ
早稲田大学 田中ゼミ
中央大学英語学会
青山学院大学 水上ゼミ
青山学院大学 中村ゼミ
東京工業大学 上田ゼミ
上智大学英語学科ヘルパー
埼玉大学 山口ゼミ
明治大学経理研究所
日本大学法学部 大井ゼミ
東京工業大学化学工学専攻
東京学芸大学明治文学ゼミ
法政大学 森ゼミ
東京農工大学細見・寺田研究室
明治大学 菊池ゼミ
神田外語大学通訳翻訳課程
日本文化大学剣道部
天文春の陣実行委員会
九州大学
東京神学大学学生説教塾
桐朋学園高等学校生徒会
桐朋学園中学校生徒会
杏林大学 倉林ゼミ
国際物理オリンピック代表候補者合宿
佐久長聖高等学校剣道部 *
東京慈恵会医科大学
サイエンスキャンプ2012
JUCTe
銚子商業高等学校野球部
文学教育研究者集団
現代と経済
青森県立青森北高等学校硬式野球部
多摩美術大学リダーズキャンプ
FURUKAWA FC
NPO法人国際チャリティー協会アメリカ・ハート
ワクミラーダイヤロン
フェイスフィルハーモニー
東京都中推協
国際ロータリー2750地区ローターアクト
帝人ファーマ㈱
㈱オザム流通部
日本キリスト教会東京中会 高校生部委員会
日本大学三島高等学校
㈱九州屋
日帰り利用
幼体連スポーツクラブ

2012年度 開催セミナー報告

主催セミナー名	日程	テ ー マ	講 師	参加者数
第1回 大学教員のためのPDセミナー	6/23(土)～24(日)	学生が授業を受けなくなるシラバス作り	土持 ゲーリ 法一 (帝京大学高等教育開発センター長・教授) 井上 史子 (帝京大学准教授)	42
第26回 大学職員セミナー	7/13(金)～14(土)	大学職員の挑戦と実践 ——職員が変われば 大学は変わるII——	高辻 智長 (明治学院大学学生課) 友松 修 (広島経済大学興動館課長) 松坂 浩史 (文部科学省高等教育局視学官・私学経営支援企画室長)	37
第5回 教員免許状更新講習	8/4(土)～7(火)	教育の最新事情 教育内容の充実	安田 忠郎 (教員免許更新センター長) 高垣マユミ (実践女子大学生生活科学部教授) 内藤 昌孝 (神奈川工科大学顧問) 小川 彩子 (州立シンシナティ大学UCBA助教授) 山内 芳文 (聖徳大学児童学部教授) 吉田 真史 (東京都市大学知識工学部教授)	67
第2回 新任教員研修セミナー	9/3(月)～5(水)	—	村山 光子 (明星大学学生サポートセンター長) 井下 理 (慶應義塾大学教授) 荒木 晶子 (桜美林大学教授) 小川 哲生 (明星大学学長)	42
第53回 大学教員セミナー	9/13(木)～14(金)	大学生の学修時間の確保について考える	荻上 紘一 (大妻女子大学学長) 吉田 文 (早稲田大学教育・総合科学学術院教授) 北原 和夫 (東京理科大学大学院科学教育研究科教授) 山上浩二郎 (朝日新聞専門記者)	29
第1回 EUセミナー	9/28(金)～30(日)	岐路に立つヨーロッパ ——EUのガバナンス——	マエヴ・コリンズ (駐日欧州連合公使・副代表) 渡邊 啓賢 (東京外国語大学教授) 小久保康之 (東洋英和女学院大学教授) 田中 素香 (中央大学教授・日本E U学会理事) 蓮見 雄 (立正大学教授) 押村 高 (青山学院大学教授) 中西優美子 (一橋大学教授) 福田 耕治 (早稲田大学教授)	74
デジタルアートセミナー#1	10/13(土)～14(日)	openFrameworksで学ぶ、 クリエイティブ・ コーディング	藤本 直明 (東京工芸大学非常勤講師) 田所 淳 (多摩美術大学・千葉商科大学・東京藝術大学非常勤講師) 神田 竜 (京都造形芸術大学非常勤講師)	48
第9回 古代史セミナー	11/10(土)～11(日)	日本古代史・新考・ 自由自在(その5)	古田 武彦 (歴史学者) 荻上 紘一 (大妻女子大学学長)	87
第39回 国際学生セミナー	11/24(土)～25(日)	東アジアを考える	三谷 博 (東京大学大学院総合文化研究科教授) 金 美徳 (多摩大学経営情報学部教授) 小松 久男 (東京外国語大学大学院特任教授) 李 成市 (早稲田大学文学学術院教授) 上田 信 (立教大学文学部教授)	50 (内留学生15)
第27回 大学職員セミナー	12/7(金)～8(土)	大学職員の挑戦と実践 ——職員が変われば 大学は変わるIII——	松井 明子 (立教大学新座キャンパス事務部長) 菊池 裕明 (日本私立学校振興・共済事業団経営支援室長) 松坂 浩史 (文部科学省高等教育局視学官・私学経営支援企画室長)	43
第6回 教員免許状更新講習	12/24(月)～27(木)	教育の最新事情 教育内容の充実	安田 忠郎 (教員免許更新センター長) 高垣マユミ (実践女子大学生生活科学部教授) 内藤 昌孝 (神奈川工科大学顧問) 小川 彩子 (州立シンシナティ大学UCBA助教授) 山内 芳文 (聖徳大学児童学部教授) 吉田 真史 (東京都市大学知識工学部教授)	81
主催論文コンクール	日程	テ ー マ	審査委員	参加本数
留学生論文コンクール2012	応募締切 10月15日 入選発表 11月15日	私が考える地球的問題	荻上 紘一 (大妻女子大学学長) 鈴木 康司 (元中央大学学長) 花澤 聖子 (神田外語大学教授) 松田 康博 (東京大学東洋文化研究所教授)	68 (うち縦書き3 編纂3)

2013年度 開催セミナー予定

主催セミナー名	日程	テ ー マ
第28回 大学職員セミナー	6/29(土)～30(日)	大学職員の挑戦と実践 ——企画立案実践のできる大学職員を目指して——
第7回 教員免許状更新講習	7/31(水)～8/3(土)	教育の最新事情、教育内容の充実
第3回 新任教員研修セミナー	9/2(月)～4(水)	
第54回 大学教員セミナー	9/9(月)～10(火)	「成長する大学教員<1>」多忙感からの脱却をめざすには ——教学経営とタイムマネジメント——(仮)
第2回 EUセミナー	9/20(金)～22(日)	EU危機を超えて——ユーロ、連帯、ソーシャル・ヨーロッパ——
デジタルアートセミナー#2	10/5(土)～6(日)	未定
児童文学セミナー(仮)	2014年2月予定	未定
第10回 古代史セミナー	11/9(土)～10(日)	
第40回 国際学生セミナー	11/16(土)～17(日)	新時代の東アジア国際関係——日米中、そしてASEAN——
第29回 大学職員セミナー	11/29(金)～30(土)	未定
第8回 教員免許状更新講習	12/24(火)～12/27(金)	教育の最新事情、教育内容の充実
主催論文コンクール	日程	テ ー マ
留学生論文コンクール2013	10月15日 応募締切	私が考える地球的問題

☆詳細は、ホームページをご覧ください。 <http://www.seminarhouse.or.jp>

☆セミナーに関するお問合せ・お申し込み TEL.042-676-8532 FAX.042-676-1220 E-mail:seminar-g@seminarhouse.or.jp

フロントより



■宿泊グループ支配人 熊木信夫
歴史のある建築物の佇まいを皆様に楽しんでいただけるよう、日々メンテナンスに努力しています。ユニークな建築物の数々に宿泊してみてもいいでしょう！

●係長 小倉 要
春は桜、秋は紅葉。自然豊かな場所でお仕事ができ、幸せを感じています。皆様のご来館をお待ちしています。

●若林純子
最近、手話の勉強を再開しました。♪手話コーラス♪をしたくなるような、緑に囲まれた自然あふれるセミナーハウスをぜひご利用下さい。



●長田裕子
住宅街の一角にあるとは思えない程、緑豊かな施設です。撮影で使用されるような斬新な建物が多く、こちらませひご覧いただきたいです。皆様のご来館お待ちしております。

●天沼万理
セミナーハウスは東京都下でありながら、四季の移ろいを肌で感じられる所です。都会の喧騒を離れ、心のリフレッシュに是非ご来館ください。お待ちしております。

●中川裕子
ご利用前のご見学をおすすめします！ 四季を感じることが出来るセミナーハウスです。皆様のご来館をお待ちしています。

○寄贈図書 (2012年10月～2013年3月) -寄贈者敬称略-

国際日本学の構築に向けて 国際シンポジウム報告書
東京外国語大学国際日本研究センター
大学評価研究 第11号 大学基準協会
早稲田法学第87巻第4号2012 早稲田大学法学会
草の上で愛を(陣崎草子著) 陣崎草子
ポロたんとかくべつなまど(陣崎草子著) 陣崎草子
Shoku Shock いただきますの前に(向井春著) 斉藤祐子
日本は再生可能エネルギー大国になりうるか(北澤宏一著) 頒布50冊 北澤宏一
全学FDシンポジウム報告書第17号 能動的教育手法への挑戦
一橋大学大学教育研究開発センター
論文集 中央大学多摩校地の生態調査
——樹木、草木類および昆虫類—— 甲斐義幸
アジアの現代文芸THAILAND(タイ)⑩
「現代タイのポストモダン短編集」(若手作家6人・宇戸清治編訳)
(公財)大同生命国際文化基金
日本の木のイス展(くつろぎのデザイン・家族の空間)I-II 横須賀美術館

総合アートセミナー・アートビレッジより

2012年度の活動をご報告します。

◇セミナーハウス主催事業◇

開催事業	日程	参加者数
デジタルアートセミナー#1	10/13~14	48

◇セミナーハウス共催事業◇

開催事業	日程	参加者数
プロジェクションマッピング「プロジェクテッドスケープ」 参加者数内訳：一般224、招待105、デジタルアートセミナー#1参加者43	10/14	372

◇アーティストによる自主企画事業◇

開催事業	日程	参加者数
親子で作るドールハウス	8/12~13	7
オリジナル葉っぱの標本箱作り (公社)ネットワーク多摩主催「それいけ!たまレンジャー」の講師として	8/24~25	6
蓮太郎教室	9/15	10
東北芸術工科大学デバイス	9/17~19	15
ウルトラ会	9/23	10
セミナーハウス周辺と建築をめぐる散歩	10/13~14	13
植物博士と行く草花散歩と座学カフェ	10/20	12

アートビレッジ便り 検索

<http://www.seminarhouse.or.jp/village/index.html>



Plain living and high thinking

制作 || アトリイ ちのへ
編 集 || 八王子子セミナーハウスグループ
発 行 || 荻上 紘一 発行部数 || 七、〇〇〇部
セ ミ ナ ー ハ ウ ス ・ ニ ュ ー ス No.184
2013年5月発行
発 行 || 公益財団法人 大学セミナーハウス

館長室から 巨星墜つ

2月14日に、中嶋嶺雄先生が76歳の若さで逝去された。先生が、大学セミナーハウスの理事長として残された大きな業績が幾つかある。

第1は、留学生会館の建設である。日本学生支援機構から助成を受けて建てられた3階建25室の留学生宿舎である。これにより、敷地内に外国人「居住者」がいることになり、セミナーハウスの国際性強化につながっている。

第2は、さくら館の建設である。大学セミナーハウス開設以来40年間そのシンボルの存在であり続けたユニットハウスが老朽化の限界を超え、年間利用者が24000名を割り込むところまで追い込まれた時に、財団として開闢以来初の借金をして建設した鉄筋コンクリート3階建、135名収容の宿泊研修棟である。さくら館効果により、年間利用者が35000名まで回復し、セミナーハウスは「倒産」を回避することが出来た。

第3は、谷を埋め立ててグラウンドを造成したことである。これにより敷地南部の様相は一変し、使い道のなかった急峻な谷がサッカーの練習場に化けたのである。

第4は食堂の直営化、第5は貯水タンク設置、第6は市道開通、……など数え上げればきりが無い。何れも「御先祖」が腰を抜きしような大変革であるが、そのお陰で、大学セミナーハウスは現在開館50周年に向けて営業を続けることが出来ているのである。

中嶋元理事長の偉大な業績を称えつつ、御冥福をお祈りしたい。合掌。

館長 荻上 紘一